

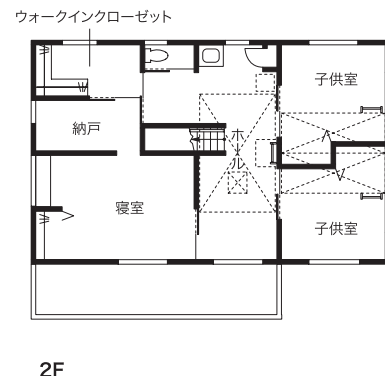
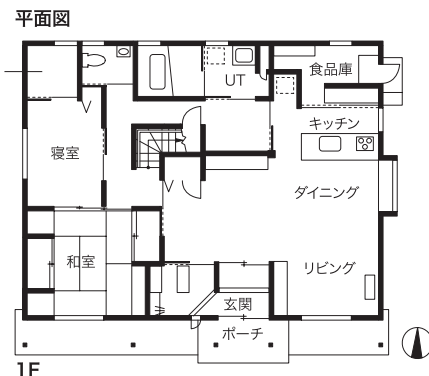
- 自然エネルギーを利用した家づくり
- プライバシーにも配慮した2世帯住宅
- 子どもの遊び心を大事にした間取り

建築データ

構造規模 ■ 木造・2階建て、延床面積／194.60㎡(約58坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根／瓦葺、外壁／窯業系サイディング、建具／玄関ドア：断熱ドア、窓：アルミ樹脂複合サッシ
 主な内部仕上げ ■ 床／スギ板、壁／シラス塗 一部クロス張、天井／クロス張
 断熱仕様 ■ (充填断熱)床下／押出法ポリスチレンフォーム3種50mm、壁／高性能グラスウール16kg160mm、天井／高性能グラスウール16kg200mm
 暖房方式 ■ 薪ストーブ



1. 両親の家を建て替えて2世帯住宅にしたKさん宅。南側と西側に遮蔽物がなく太陽光パネルを設置するのに絶好の立地条件
2. 床と壁には地元宮城県産を中心とした東北のスギ材をふんだんに使用
3. LDKから見て左が玄関につながる戸。正面にある戸を開けると各部屋につながる廊下
4. LDKに設置された薪ストーブ
5. 薪ストーブの向かいにあるベンチ。座面を上げると、薪ストーブ用の道具を収納できるようになっている
6. ロフトへ上るはしごがある2階ホール。奥が子世帯のキッチンとして使われているスペース
7. 子ども部屋からはしごでロフトへ。向かい合う対称的な間取りでもうひとつ子ども部屋がある



北国のいい暮らしを創る会

夫の両親との同居のため、2世帯住宅を建てたKさん一家。1階は親世帯、2階は子世帯の居住スペースとしていますが、玄関やキッチンが共通です。1日に1回は必ずみんなの顔が見られるよう、帰宅してどの部屋に行くにも必ずリビングを通るようにしました。

一家が集まるリビングのアクセントになっているのが薪ストーブ。その向かいには、炎を見ながらのんびりできるベンチシートも設置されています。Kさん宅では太陽光エネルギーも利用。敷地の南側と西側は道路に面しているため遮蔽物がありません。その陽当たりの良さを生かし、家で使用する主な電力を自力でまかない、売電も行っています。

家族みんなで過ごすことの多いKさん一家ですが、子世帯だけでお客様をもてなしたり、のんびりできるように2階にもミニキッチンを設置。親子孫の3世代がそれぞれのペースで暮らせる工夫もされています。小学生の2人の孫にもそれぞれ部屋が与えられています。ただし、各部屋に広いスペースは割けませんでした。そこで、屋根裏を各自の物置として利用することに。部屋からはしごで上ります。2人が小さいうちは物置に壁を設けず、2部屋、そしてホール側の計3つのはしごで自由にアクセスできるようになっています。年頃になって壁を設けるまでは、子どもたちの人気の遊び場所になることでしょう。

kitaguni no iikurashi wo tsukuru kai
 北国のいい暮らしを創る会

問い合わせ先事務局
 (株)タカカツ
<http://www.takakatsu.co.jp>
 大崎市古川休塚字新西田38-1
 TEL.0229-28-1000